

1 本園の教育目標

心身共に健康で、自立できる子供に育てよう
 *心豊かな子 *たくましい子 *元気に遊ぶ子 *自分を大切にする子
 *友達も大切にする子 *気持ちを素直にあらわす子

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

楽しそうやってみよう心も体も大きくなあれ
 ~自分の体を知り、遊びを広げてのびのびと活動できる環境構成と援助について考える~

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目の達成及び取組状況	結果	理由
①努力目標に向けて	B	職員同士で、季節に応じた体操を日々のストレッチ体操の時間に交流しあったり、自分の体を知るための保健指導などを意識的に取り入れたりできた。
②安全教育の推進	B	様々な想定避難訓練を実施したり、地域の防災マップの啓発・ホイクトを利用した保護者の引き取り想定訓練を実施したりした。
③職員の資質向上	B	園内研修の充実を図り、研究保育後は、討議の中でドキュメンテーションや付箋による分析などを行った。保育に役立つ描画技法や絵本の研修なども行った。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	地域散策を保育の中に計画的に取り入れ、自然に触れたり、集団歩行の力を伸ばしたりしてきた。身体づくりを意識した遊びや保健指導を通して、自分を大切にすることを意識できるような保育を心がけてきた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境整備	固定遊具・玩具ではない遊びの充実のため、保育内容を工夫し、季節に応じた自然物などを保育に取り入れていく。さらに行事後の片付けなどを計画的に行う。
保育内容の充実と行事の精選	つながりのある保育内容の充実のために、行事の時期などを精査しながら、子供たちが楽しめる保育内容を充実していく。
異年齢のかかわりを通しての保育	園内での異年齢交流だけでなく、小学生や中学生へのあこがれの気持ちや、子育て支援を通して、小さい子へかかわり方などを工夫していく。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である